

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1001007

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・維持事業であるため、毎年実施する事業である。
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	B	
単位施策	1 道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町内小工事事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	町道舗装等の補修		#N/A	
事業目標	適切な補修	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容
計 画 内 容	○町道の舗装、排水、法面等の応急的な補修工事	・舗装補修外 1式	・舗装補修外 1式	・舗装補修外 1式	・舗装補修外 1式	・舗装補修外 1式
計 画 事 業 費	事業費(千円)	33,620	10,000	6,400	5,760	5,700
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	33,620	10,000	6,400	5,760	5,700
実 績 事 業 費	事業費(千円)	34,195	9,997	5,657	7,434	4,968
財 源 内 訳	国庫支出金	1,785			1,785	
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	32,410	9,997	5,657	5,649	4,968
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) ・きめ細かな交付金 (交付率100%)  【評価・実績】	(実施内容等) ・舗装補修外 1式  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・舗装補修外 1式  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・舗装補修外 1式  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・舗装補修外 1式  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・舗装補修外 1式  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値 適切な補修	年度達成率 100%	年度達成率 88%	年度達成率 129%	年度達成率 86%
		全体達成率 30%	全体達成率 47%	全体達成率 69%	全体達成率 83%	全体達成率 102%
		事業進捗状況 ☆☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆☆

事業名 町内小工事事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	佐竹邦夫
	評価者 作成者 職氏名	土木管理係長	田原慎也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	町道舗装等の補修件数								
【抱える課題やニーズは】	道路未補修による交通障害。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町道の舗装、排水等の応急補修による現況復元。	① 町道舗装等の補修件数/町道舗装等の補修件数の実績	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	6件	実績値	6件	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	6件										
実績値	6件										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町道の通行の安全確保の維持。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間業者による工事の実施	入札及び見積り等により民間業者に工事を発注し補修を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町道の舗装、排水等の応急的な工事により、通行の安全を確保することは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該工事を実施したことにより、通行の安全確保が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	応急的な対応を行うための予算を措置し、早急に対応できたことは、被害拡大の防止が図られ、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町道の舗装、排水等の応急的な工事により、通行の安全を確保できたので、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
応急的な補修工事ができたことは、町道の安全な通行上、今後も必要な事業であると判断する。		



継続/現状維持		
町道の安全な通行のために、応急的な補修工事に対応することは、必要不可欠であることから、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止